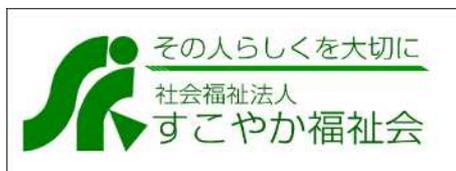


すこやか福祉会 2021年度事業報告

2022年6月24日
社会福祉法人すこやか福祉会評議員会



1. 法人概要

■法人設立の目的・趣旨・経営方針

社会福祉法人すこやか福祉会の設立は、四ツ木診療所（医療法人健和会）の職員保育所として出発した無認可保育所「竹の子保育所」と同じく無認可保育所の「東金町保育園」が一緒になって認可保育園開設にむけて取り組み、「産休明けから預かる保育園を」と願う若い親たちと働きつづけることの大切さを感じ取っていた地域住民の方々の協力で葛飾区東金町に開設した「こぼとの森保育園」が原点です。

1998年（平成10年）2月に社会福祉法人の認可を得て今年で24年を迎え、運営する事業所数はこの数年で介護人材不足による事業所閉鎖が数ヶ所あり2022年6月現在で事業所数は44ヶ所（分室・サテライト含む）となりました。

法人設立から今日に至るまで、私たちは一貫して「安心して住みなれた地域に住み続けられること」をめざして、医療法人（健和会、南葛勤医協、アカシア会）や学校法人（東都医療福祉学院）、介護事業を担う法人（福祉協同サービス、小鳩会）、特定

非営利活動法人（たんぽぽ会、三郷おあしす会）など東都保健医療福祉協議会を構成する法人やそのほかの介護・福祉事業を展開する社会福祉法人、一般社団法人との連携を強め、医療と福祉のネットワークづくりに努力してきました。また、社会福祉法人のもつ高い公共性から社会貢献をめざし、子どもからお年よりまで病気であっても障がいを持っていても、安心してすこやかな生活をおくることができる福祉サービスを提供できるよう事業活動を展開してきました。

「法人の基本理念」に沿って、これからも福祉サービスを必要とする人々が、社会、経済、文化その他のあらゆる活動に参加する機会を得ることができるよう、総合的で質のよいサービスの提供をめざします。



<特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷大規模修繕の様子>

すこやか福祉会の理念

1. 私たちは、命と人権をなによりも大切にします。福祉・介護サービスの提供にあたって、自立支援を重視し、安全に努め、その人らしく生きていくことを支援します。
2. 私たちは、国内外の福祉・介護サービスの実践と研究の成果に学び、サービス内容の改善充実に努めるとともに、病気や障害をもつ人々の生き方に共感し、ともに学び成長する職員の育成に努めます。
3. 私たちは、公共性の高い非営利の事業体として、事業内容の透明性を高め、情報の公開と共有を基礎に、民主的な運営と健全な経営に努めます。また、職員がやり甲斐と生きがいをもって生き生きと働きつづけられる職場づくりをめざします。
4. 私たちは、保健・医療・福祉の充実と地域に根ざしたネットワークづくりに努めるとともに、地域住民と交流を深め、理解と参加・協力を得るよう努めます。また、人間が大事にされ、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献していきます。
5. 私たちは、地域の子どもの成長発達を守り、保護者と共同で、ひとり一人を大切にその子らしく生きる力を育むことを支援します。

■法人設立 1998年（平成10年）2月27日

■本部所在地 〒125-0051 東京都葛飾区新宿三丁目4番10号

■実施事業 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム、都市型軽費老人ホーム
 第二種社会福祉事業 保育所、放課後児童健全育成事業、一時預かり事業
 通所介護、認知症対応型共同生活介護、訪問介護
 障害者福祉サービス事業、移動支援事業、短期入所
 小規模多機能型居宅介護
 公益事業 居宅介護支援、グループリビング、地域包括支援センター

2. 事業概要

■事業地域 東京都（葛飾区・足立区・墨田区・港区・江戸川区・江東区）埼玉県（三郷市・八潮市）

■事業規模 年間収入 約33億2300万円（2021年度）

■事業所数の推移（各年度末時点）

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
保育園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3
学童保育					1	2	2	2	3	3	4	4	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4
特養ホーム		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
通所介護		1	2	3	5	6	9	9	9	9	9	9	8	8	6	8	8	8	8	8	7	6
訪問介護					1	2	13	13	12	13	13	13	13	13	13	17	15	15	15	13	12	12
訪問入浴							1	1	1	1	1	1	1									
GH		1	1	1	4	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
認知症デイ							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
小多機									2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
看多機													1	1	1	1	1					
居宅支援						1	1	1	1	1	2	2	3	3	4	4	4	3	2	2	2	2
地域包括									1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
訪看ST													1	1	1	1	1					
ケアハウス													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
GL						1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
合計	1	4	5	6	13	20	36	36	40	41	46	46	49	49	47	53	51	51	48	46	44	44

*地域包括支援センター分室・訪問介護サテライト営業所も1事業所としてカウント

■2021年度開設事業所（なし）

■2021年度閉鎖事業所（なし）

■2021年度サービス事業転換事業所（1ヶ所）

○デイサービスセンターかねがふち（通所介護→認知症対応型通所介護） 2021年4月1日事業転換

■職員数 679.8名（2021年度月平均）

年度末時点	2021年度	2020年度	前年差	前年比	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
職員数合計	676.0	696.0	▲20.0	97.0%	718.0	746.0	734.0	727.7
（常勤職員）	246.0	252.0	▲6.0	97.6%	265.0	264.0	253.0	244.0
（非常勤職員）	430.0	444.0	▲14.0	96.8%	453.0	482.0	481.0	482.9
※常勤換算	480.3	496.3	▲16.0	96.8%	522.8	529.3	518.8	542.0
離職率	9.8%	13.9%	▲4.1%	70.5%	14.8%	14.5%		
離職率：介護	9.3%	13.2%	▲3.9%	70.5%	14.3%	14.3%	13.8%	15.4%
離職率：保育	12.2%	16.7%	▲4.5%	73.1%	16.9%	17.3%		

3. 2021年度の運営概要

■法人役員（2022年3月31日現在）

理事7名（定数6～8名）
 理事長 藤井 博之（2021年6月28日就任、第5代理事長）
 常務理事 菊地 雅彦（業務執行理事）
 理事 天野 義久：特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷施設長
 新井 敦子：軽費老人ホームケアハウスかねがふち施設長
 石井 良子：保育事業部長・八潮かえで保育園園長
 小笠原 光雄：葛飾健康友の会事務局長
 中山 美千代：社会福祉法人小鳩会理事・特養小鳩園施設長
 監事2名（定数2～3名）
 久保田 英似：医療法人財団健和会みさと健和団地診療所事務長
 畑中 大吾：社会福祉法人東京さくら福祉会常務理事

■評議員（2022年3月31日現在）

評議員9名（定数7～9名）
 阿部 孝史：医療法人社団はたがや協立会常務理事
 伊藤 俊夫：すこやか福祉会を支援する会会長
 佐々木 史子：社会福祉法人なの花会理事長
 対馬 眞代：こぼとの森保育園保護者OB
 寺田 慎：医療法人財団アカシア会理事
 中野 三代子：一般社団法人幸樹会代表理事
 野口 修二：城南保健生活協同組合専務理事
 堀口 千恵子：社会福祉法人ねりま共育ちの会副理事長
 三井 亨：社会福祉法人三多摩福祉会常務理事

■評議員会の開催（2021年4月1日～2022年3月31日）

定時評議員会 6月28日（月） 10:00～11:20、千住曙共同会館1階会議室+Web
 （評議員8名出席）

議題 2020年度事業活動報告、2020年度計算書類報告、資産登記の変更
 定款一部変更、役員等報酬規程改定、任期満了に伴う理事選任
 任期満了に伴う監事選任

臨時評議員会 3月25日（金） 書面同意議決（評議員9名全員同意）

議題 2021年度補正予算、2022年度事業活動計画、2021年度予算

■理事会の開催（2021年4月1日～2022年3月31日） 9回開催（定時6回、臨時3回）

- 第1回定時** 5月12日(水) 9:30~11:05、千住曙共同会館1階会議室+Web
(理事・監事全員出席)
議題 設備投資・備品購入、懲戒人事、夏期一時金回答・支給額及び金融機関借入
任期満了に伴う次期役員候補者及び次期評議員候補者推薦、
役員等報酬規程改定、定款施行細則一部改定、就業規則・賃金規程一部改定
- 第2回臨時** 6月2日(水) 9:30~11:30、千住曙共同会館1階会議室+Web
(理事・監事全員出席)
議題 2020年度事業報告、2020年度計算書類報告、資産登記の変更
定款一部変更、設備投資・備品購入、2021年度第2次予算
定時評議員会開催日時・会場・議案
- 第3回臨時** 6月28日(月) 11:25~11:30、千住曙共同会館1階会議室+Web
(理事・監事全員出席)
議題 理事長・業務執行理事(常務理事)選任
- 第4回定時** 7月14日(水) 書面同意議決(理事・監事全員同意)
議題 設備投資・備品購入、管理者人事、福祉医療機構貸付条件変更
- 第5回定時** 9月3日(金) 10:00~11:00、千住曙共同会館1階会議室+Web
(理事全員出席、監事2名中1名出席)
議題 設備投資・備品購入、協立医師協同組合金融互助会積立加入
葛飾やすらぎの郷大規模修繕工事実施設計及び監理業務契約
葛飾やすらぎの郷大規模修繕工事福祉医療機構借入
葛飾やすらぎの郷大規模修繕工事入札参加条件及び入札予定価格
こばとの森保育園避難口新設工事資格要件、指名業者選定。入札予定価格
- 第6回臨時** 9月24日(金) 9:30~9:55、千住曙共同会館3階会議室+Web
(理事・監事全員出席)
議題 こばとの森保育園避難口新設工事指名業者決定及び設計監理業務
- 第7回定時** 11月5日(金) 10:00~11:40、千住曙共同会館3階会議室+Web
(理事全員出席、監事2名中1名出席)
議題 設備投資・備品購入、管理者人事、新型コロナ臨時手当支給
葛飾やすらぎの郷大規模修繕工事入札結果及び工事契約
こばとの森保育園避難口新設工事入札結果及び工事契約
長期運営資金借入、年末一時金回答・支給額及び資金借入
次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画
東京さくら福祉会との法人合併計画
- 第8回定時** 1月7日(金) 10:00~11:55、千住曙共同会館3階会議室+Web
(理事7名中6名出席、監事全員出席)
議題 管理者人事、懲戒人事、保育事業部非常勤職員就業規則改定
あおと福祉の家空調・給湯設備改修工事設備資金借入
かなまち福祉の家空調設備改修工事設備資金借入
こばとの森保育園認可定員変更、東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業活用
2022年度予算編成方針、東京さくら福祉会との法人合併計画
- 第9回定時** 3月4日(金) 9:30~11:50、千住曙共同会館1階会議室+Web
(理事・監事全員出席)
議題 管理者人事、設備投資・備品購入、2021年度経営報告と2021年度補正予算
2022年度事業計画、2022年度第1次予算、
保育園3園の保育所施設整備積立金計上、2022年春闘要求回答
就業規則・賃金規程改定、臨時評議員会開催
ロシアのウクライナへの軍事侵攻に対する抗議声明
外国人留学生の寮提供・家賃補助・就学資金借入連帯保証

■会計監査人<協働公認会計士共同事務所>往査の状況 (2021年4月1日~2022年3月31日)

別紙会計監査人報告書参照

■監事監査の開催 (2021年4月1日~2022年3月31日) 1回開催 (監事全員出席)

6月1日(火) 10:30~11:00、千住曙共同会館3階面談室

■苦情対応第三者委員会の開催 (2021年4月1日~2022年3月31日) 1回開催

(第三者委員4名中3名出席)

8月27日(金) 9:30~10:30

議題 GH認知症入居者の人権(参政権)についての状況と意見交換

■評議員選任・解任委員会の開催 (2021年4月1日~2022年3月31日) 1回開催 (委員全員出席)

6月15日(火) 9:30~9:55

議題 任期満了に伴う評議員の専任について

4. 2021年度事業活動のまとめ

はじめに 2021年度、私たちを取り巻く情勢

2020年初頭から世界中を席卷した新型コロナウイルス感染症は、変異を繰り返しつつ、全世界でその猛威を振るっています。マラリヤ、結核、エイズの三大感染症をしのぐ勢いで歴史に残るパンデミックとなっています。「コロナ禍」と呼ばれるその被害はまさに災害級であり、私たちの生活の隅々に渡り大きな影響をもたらしています。先の第6波でも、感染力が極めて強いオミクロン株が急速にまん延して医療が追いつかず、自宅で亡くなる人が相次ぎました。このパンデミックで明らかになったことは、90年代から政策的にすすめられてきた保健所の統



廃合や感染症病床や急性期病床の削減などで、医療・公衆衛生体制が大きく傷めつけられ、パンデミックに対応できないほどに脆弱になっていたという事実です。加えて、平均寿命や乳児死亡率などの指標で、かつて「世界一」と評価されていたことは、実は医療・介護福祉労働者の過酷な労働で支えられてきたということも明らかになりました。

すこやか福祉会の事業所では、2020年度に引き続き2021年度も新型コロナウイルス感染症とのたたかいと対応に終始しました。クラスターとなり休業・休園を余儀なくされた事業所は4ヶ所10回(新宿デイ2回、デイすこやか3回、野のはな保育園4回、デイみたて)を数え、陽性もしくは濃厚接触者となった園児・学童含む事業所利用者・入居者、利用者家族・保護者、職員、職員家族の人数は調査中ですが3桁は確実です。この2年間に私たちが経験したことは、私たちの将来を展望する上で、さまざまな教訓をもたらしています。人は誰もが生きていく上で他者のケアを必要とする存在であり、ケアが社会を維持するために不可欠なものであることを示しました。同時に、エッセンシャルワーカー(ケア階級)とも称される福祉の担い手の重要性和その処遇が低くとどめ置かれている現実を明らかにしました。ケアが大切にされる社会をめざすために、さまざまな共同を広げていきましょう。

2022年2月24日、ロシアはウクライナに対して軍事侵攻を開始しました。ロシアによる軍事侵攻により多数のウクライナ人に死傷者が出ています。また、数百万人も国民が難民となって国を追われ、連日、報道やSNSを通じて戦争の悲惨な実態が世界中に拡散されています。私たちすこやか福祉会は、いのちと人権

を守り、暮らしを支えることを理念に掲げる社会福祉法人であり、その思いで日々の活動に取り組んでいます。その立場から断固抗議し、暮らしを破壊するロシアの軍事侵攻の即時中止を求め、世界各国、市民社会と共に手をつなぎ、平和をとりもどすため声をあげつづけます。

①「全職員参加の経営」で次代を切り開く安定した経営体質づくり

○第2次期5カ年計画（AreaMovement2025：2021～2025年度）初年度スタートダッシュ

2021年度は、第2次5カ年計画（AreaMovement2025：2021～2025年度）の初年度でした。コロナ禍で様々な困難に直面し、それに加えて慢性的人材不足や補足給付見直しなどの制度改悪の影響で、大きな前進を作り出すことはできませんでした。しかし、計画に掲げた課題の実践はこれからの奮闘にかかっています。私たちの現在の到達点に確信を持ち、第2次5カ年計画の実現に向けて引き続き取り組んでいきます。

○「withコロナ」での持続可能な事業所運営と組織統治（ガバナンス）の確立

2017年10月にエリア事業部制に移行して2022年3月末で4年半が経過し、内外的にも確実に浸透し、確立してきました。プレーイングマネジャーであるサブマネジャーの任務や位置づけの問題は未解決ですが、今年度からエリアマネジャーがコンプライアンスマネジャーの任務を兼任するなど、着実に前進しています。また、年度当初に多数の幹部職員の任務交代を行い、新たな人材の活躍の場を提供しました。

社会福祉事業経営は費用の大部分を人件費が占める構造のため、文字通り職員の働き方と意欲に左右されます。そのため、法人理念を理解し、経営を守る視点も踏まえた管理・マネジメントを担う管理者の役割・配置が重要です。しかし、2021年度は2020年度に引き続き新型コロナウイルス感染症とのたたかいと対応に終始した1年間でした。そのため今年度は災害対策としての「事業継続計画」の重要性は理解しつつも作成には至りませんでした。早急に危機管理対策や感染対策の具体化と対応が必要です。

○2021介護報酬改定への機敏な対応

報酬改定への対応では、新たな加算（L I F Eへの対応）算定のため、様々な職種が協力し合い進めることができました。

訪問介護は2021改定ではプラス改定はまったくなく、年々引き上げている人件費に対応できず不採算化が進行しているため、自らのケア内容に確信がありケアウイング導入により記録の改善も進んだため、4月から全事業所で特定事業所加算Ⅰを算定した。当初は一定の効果が上がっていたが、ヘルパーの確保ができず、また高齢化の進行により、収入自体が減少する事態となった。

○不採算事業所対策や資金流出等の緊急改善課題への迅速な対応

不採算や人材不足による閉鎖の連鎖は将来的には展望が見えなくなるため、新たな事業展開へとギアの入替えが必要です。通所介護事業所の3年続けての経営悪化はどのエリアでも課題であり、迅速な経営対策が急務の課題で、デイすこやか、デイなごみ、デイみたてなどでは、経営検討会議（発展計画会議）が開催されるなど対策の具体化に向けて動き出している。

保育分野では、0歳児や幼稚園転園による3歳児の定員割れ、野のはな保育園での開園以来続いている定員割れ、保育事業部での人材紹介会社を使つての人材確保など、保育事業部での経営対策の必要性が浮き彫りになりました。

○老朽化した施設の修繕とよりよい施設への改修

こばとの森保育園開設の際から課題となっていた災害時の二方向避難通路の確保目的で隣地を2020年7月に購入し、二方向避難口新設工事を11月から開始し、2022年1月に完了しました。また、GH福さん家の土地・借地権・建物を購入（2021年4月購入）するなど、将来的に安定した事業運営に向けての基盤をつくることができました。

2001年開設の特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷が2021年で開設20周年を迎え、老朽化が進んでいるため、防水改修、外壁、内装工事を行うこととした。工事費総額は1億9317万円（東京都・葛飾区の補助金7500万円）。また、開設19年を迎えたあおと福祉の家・かなまち福祉の家の給湯・空調設備の改修工事を行った。

○他法人との連携・交流を大きく進める取り組み

協議会外の他法人との連携では、特養増床・移転新築に向けた社会福祉法人小鳩会との連携が深

まり、定期協議や運営面での提案、幹部の出向支援を引き続き行っています。増床移転新築が現実化していく中で、増床移転準備室の立ち上げや日常運営支援の強化が課題です。

また、社会福祉法人東京さくら福祉会とは将来的な展開を視野に交流を開始し、2022年3月には両法人理事長の懇談を行い、合併に向けた課題であるケアの質の向上、経営改善、民医連の介護拠点づくりの必要性を確認しました。

②法人運営の新たな段階をめざすために、経営改善のリーダーシップを発揮する幹部の育成

○役員任期更新の機会に幹部の再配置を行い、5カ年計画を担う世代への交代

役員では理事長・監事が交代したが、全面的な再配置までには至らなかった。エリアマネージャーの交代や外部団体役員の変更、他法人への出向人事などは精力的に実施した。

○組織ラインの再編

2021年5月に組織ラインを再編した。新たに法人統括管理会議を設置し、その下に保育事業管理会議、介護エリア統括会議、事務局運営会議を設置した。

○本部事務局の機能と業務の見直し

組織ラインの再編により、本部事務局の役割が明確化されたが、機能と業務の見直しまでは取り組めなかった。テレワークについては、固有の業務や会議等について実施されるようになってきたが、反面事務局が不在になるなど新たな課題も出てきたため見直しを行った。

③社会福祉法人としての役割実践と平和や社会保障拡充、環境問題等の取り組み

○SDGsを推進する当事者として、環境・社会・経済面での負荷軽減に結び付ける取り組み

第2次5カ年計画にSDGsを取り入れて、身近な分野から地球規模に及ぶことまでを対象に学んで実践に取り組んだが、具体的な活動まではなかなか徹底することができなかった。

○コロナ禍で明らかになった「いのちと人権」の危機からの転換をめざす活動

ソーシャルワークの視点を学ぶ目的で始めた「人権Café」に全事業所で取り組んだ。学ぶ中で新たな視点や利用者の社会的背景を学ぶことができた。また、法人独自減免制度については、コロナ禍での申請が増え、2021年度は48件307,889円に拡大した。公的社会資源の活用を促進する上で利用者負担減額規程の見直しなど新たな段階に入ってきている。引き続き今後の活動に大いに期待するところですが、福祉（介護・保育）相談に結び付けることができるような職員の「目とかまえ」が重要な課題です。

特養で補足給付の見直し後の影響調査を行い、利用者負担増の厳しい現状を発信し、改善運動につなげることができた。社会保障や介護関連の署名も施設受付に置き、来訪者へ協力を呼び掛けた。人権カフェの取り組みでは全職員読了を目指し、常勤職員については毎月全員が感想コメントをグループウェアへ書き込む取り組みを行った。

○「新子育て安心プラン」での新たな規制緩和に抗し、保育士の処遇改善や負担軽減を求める運動

2020年12月、政府は「新子育て安心プラン」を発表しました。待機児童解消を掲げた新プランは、保育の規制緩和を含んでおり、保育の質の低下を招く恐れがあると不安の声があがっています。「待機児童が存在する市町村において、各クラスで常勤保育士1名必須という規制をなくし、それに代えて2名の短時間保育士で可とする」内容の保育士の規制緩和を盛り込みました。これにより週5日継続して保育する担任が、複数のパート保育士だけで入れ替わり立ち替わりでクラス担任をすることも可能となります。保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置が必要だと考えます。

○地域における公益的取り組み

地域や子育て相談支援や地域交流の場の提供や地域行事への参加、災害時の非難支援、施設の一部や園庭の解放、研修会の実施や職員の講師派遣、認知症や介護予防講座の実施、利用者負担軽減や生活困窮者への支援など多くの目標を設定しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でそのほとんどが中止となりました。金町での子ども食堂「カフェひろば」も今年度は弁当配付活動にとどまりました。葛飾区では青戸地域と四つ木地域でNPO法人と協力して高齢者サロンを開始しました。埼玉エリアでは、フードパントリーの活動について学び、開催前日の手伝いに参加し始めています。地域と楽しく関わることができる一つとして、とても良い機会となりました。今後も継続していきます。

④様々な関連法規・対策課題を学び、良質かつ適切な福祉サービスの提供と取り組むべき課題

○関連法令や社会的ルールの遵守などコンプライアンス教育の徹底と体制の構築、マニュアルの策定
法令遵守委員会を毎月開催し、日常的に整備を進めることができました。各サービス事業のコンプライアンス・サービス向上委員会も定期開催しましたが、エリアとのかかわりでの整備が課題となっているため、エリアマネージャーがコンプライアンスマネージャーを兼務し、また、各サービス事業のコンプライアンス・サービス向上委員会の運営についても一部改定しました。

○日常的なリスクマネジメントと重大事故が起こった際の対応ルールの確立、リスクマネージャーの配置

福祉サービスでのリスクマネジメントは、利用者満足度の向上や利用者の安心と安全を守る適切なサービス提供を実現することが目的です。万一の事故の際にもすばやく適切な要因分析や手順改善等の対応ができるリスクマネージャー配置に向けた第1歩となりましたが、リスクマネージャーの配置までには至りませんでした。

○法人・エリア・事業所での事業継続計画（BCP）の作成

今年度は災害対策としての「事業継続計画」の重要性は理解しつつも作成には至りませんでした。早急に危機管理対策や感染対策の具体化と対応が必要です。また、新たに感染症対策としてのBCPの作成も課題です。



地震でEV停止：人海戦術での食事運び（葛飾やすらぎの郷）

⑤活動実践の原点である「職場づくり」と事業活動を担う人材の確保

○民医連綱領や人権学習に取り組み、経営理念の浸透や「めざす職員像」を構築する

2021年度は民医連が提起した「人権Café」に取り組み、すこやか福祉会では645回の学習会（独学含む）で1080人が参加し、東京民医連独自企画の「人権、私の気づき」レポートには7名の職員が応募しました。学習期間が終了しても独自に学習に取り組み人権意識を高め、また、各エリアでは学習感想文の提出など工夫を凝らした取り組みをすることができました。

○私たちの事業の成否がかかる人材の確保と育成

人材確保は前年度に引き続き厳しい1年でした。保育事業部では採用委員会を中心に職員確保の取り組みを進めていますが、依然人材紹介会社経由での中途採用が中心となっていて、採用委員会の取り組み強化が求められます。介護事業では派遣職員0名を目標に取り組んでいましたが、グループホームでの特に夜勤職員の確保に苦戦し、派遣に頼らざるを得ない状況となっています。

離職させない職場づくりを目標に離職率10%以下をめざして取り組み、2021年度は法人全体で9.8%の到達で目標を達成することができました（介護系9.3%、保育12.2%）。離職率は2年間で5ポイント低下し、この数年で大きく改善してきました。しかし、採用率が年々低下し、2021年度は8.2%（前年度12.0%）となり（介護系7.5%、保育11.4%）、人材不足は一層厳しくなっています。特に訪問介護の採用率は3.0%（6人）にまで低下し（前年度7.5%）、人材確保は事業の存続にかかわる重大な事態となっています。

2021年度は介護留学生1名、2022年度に新たに4名を受け入れ、現在5名の留学生が千住介護福祉専門学校に通っています。留学生は足墨エリアの各事業所で習慣・文化の違いはありますが受け入れの中心となって動きました。2022年3月に卒業した介護留学生2名は葛飾やすらぎの郷で無事採用となりました。新卒採用は、目標数を達成することがこの数年達成できていない状況です。コロナ禍で介護職養成施設への働きかけや実習受け入れが予定通り進まなかったことが影響していますが、「高校生オンライン介護体験」など新たな取り組みを開始しています。引き続き目標達成に向けて取り組みます。

○「業務効率化」による現行業務の見直しと再構築

人材不足を補い省力化のためにICT化を進めています。ICT化はやり方によっては積極的な意味がありますが、「効率化＝生産性の向上」がすべて正しいとは思えません。ICT等の先端技

術を利用した福祉の効率化、標準化、「科学的介護」の動向などからは、人権を解体し「自立」や「自助」を求め、社会保障費抑制を命題とする政治的文脈の中で提案され実行に移されていることには注意が必要です。

⑥経営戦略・人材戦略の一環としての広報PR活動、ブランド戦略の具体化

○ブランディング強化の取り組み

すこやか福祉会の「強み」や「特長」を職員一人ひとりが共有することで、それらを活かした将来のビジョンを見いだすことができます。それにより職員の行動指針となり、地域・社会に向けた「福祉」の発信に大きな効果が出てきます。社会福祉法人といえどもブランディングは重要なコンセプト。強化する必要性をまず職員一人ひとりが認識することが重要です。

○広報紙「すみなれたまちで」の徹底した活用と送付先の拡大

「すみなれたまちで」の定期発行を継続して行い、送付先の拡大等によるアピール活動の強化を進めることが継続してできました。しかし、さらなる活用をめざして、他法人の取り組み・活用方法などを参考に再検討していくことが必要です。

○一貫した宣伝やホームページ等の充実や民医連新聞・いつでも元気等への通信員登録と投稿

日々の取り組みを情報収集し、SNSでの定期発信を行ってきました。新たに採用専用ホームページを作成することを確認しました。法人ホームページと合わせ定期的な更新と発信を行なうことや広報委員会の強化が課題です。



すこやか福祉会
イメージキャラクター
すこふくちゃん

5. 2021年度研究発表・研修講演活動及び取材・記事掲載

①研究発表・研修講演活動

- 東洋大学ライフデザイン学部講師：5月11日
「生活支援技術IX」 F C たかの 沼尻 真澄
- 東京民医連介護職部会第11回研修交流会（事例発表）：5月22日
「利用者の体幹の意識 背面解放と腹臥位」 デイ采女の里 栗原 一樹
- 東京民医連2021年春の全医師集会：5月29日
「利用者の体幹の意識」 足墨AM 吉井 暁
- 東京民医連介護を担う管理者・職責者講座：6月16日
「2021年度介護報酬改定対応について」 事務局次長 中村 寛史
- 第43回東京民医連看護介護活動研究交流集会：6月27日
「新たな取り組みのその先」 GHみたて
「逆境の立ち向かう新たなチャレンジの実践」 デイみたて
- 東洋大学「ZOOM 学生対象国試勉強交流会&合格きつと説明会」：7月20日
「訪問介護実習の心得と家事支援の実技」 F C たかの 沼尻 真澄
- 全日本民医連第9回医療介護管理者顧問弁護士交流会：7月31日
「あずみの里事件を振り返り介護事業所で取り組んだこと」 落合 直人
- 第53回全国保育団体合同研究集会：7月31日、8月1日
ゼロ歳児の保育分科会「子どもの返しを待てる保育」 こぼとの森保育園 石出 美菜
竹若 美月
小山 信子
橋詰 菜歩
子どもの生活と集団づくり分科会「子どもの生活と集団づくり」
八潮かえで保育園 渡辺 雄
柴田 由紀子

- 協議会介護安全委員会主催介護安全研修会：8月27日
「対応事例から重大事故発生後の基本的対応を振り返る、弁護士から見たあずみの里事件とは、事故発生後の苦情・トラブル防止」 統括M 落合 直人
- 三郷市医療介護連携推進事業研修部会：10月22日～10月28日
Youtube 配信研修会「三郷市のコロナ禍における各職種の現状」訪問介護について
埼玉AM 猪瀬 茜
- 全日本民医連学術・運動交流集会：10月23日
「コロナ禍におけるYouTube（動画）を活用した経営改善 介護職員採用・介護職員教育・利用者獲得」 事務局次長 中村 寛史
- 葛飾やすらぎの郷全体集会事例発表：10月29日
「今動き出した排泄委員会 ～スタートから関わって～」 葛飾やすらぎの郷 上野 太一
「介護施設での家族との関わり」 福 和門
「補助器具」 福田 剛
「食欲の追及 食指を動かす」 昼間 武史
- 第18回協議会介護活動交流集会：11月19日
「見えない壁を取り除く 両ユニット一体型運営の構築」 GHみたて 笠井 由美
「その人らしく生活してもらう」 GHかなまち 池田 丸
「私の声を聴いて！」 デイみたて 湯田 達也
「自立支援、その人らしさ」 デイよりみち 宇留賀 岳
「相手の気持ちに寄り添ってこそその人らしさを引き出せる」
F C大島 山田 悦子
「色々な人達と話してみたら」 F Cたかの 船木 幸子
「今動き出した排泄委員会 ～スタートから関わって～」 葛飾やすらぎの郷 上野 太一
- オレンジカフェ講師：11月25日
「体操と音楽」 小多機葛西みなみ 吉野 正登
高村 重明
- 東京民医連介護経営検討会：12月11日
基調報告「介護事業における経営課題」 常務理事 菊地 雅彦
「私たちのケアに確信を持つ対応として選択した加算～特定事業所加算Ⅰ～」
訪問介護CM 猪瀬 茜
- 川村学園女子大学大学院臨床心理学領域修士論文作成に伴うインタビュー調査：1月13日
小多機馬渡さん家 明石 純子
- 葛飾区薬剤師会地域在宅医療介護連携研修会：1月17日
「高齢者の療養場所と介護保険サービスについて」 地域包括青戸 新美 育子
- 東都協議会事務活動交流集会：1月22日
「埼玉エリア事務局の活動」 事務局次長 吉澤 聡
- 第16回みさと北部地域医療・福祉活動交流集会：1月29日
「この一年間新型コロナを体験した現場の実態と取組み～【新しい生活様式】に慣れていこう～」
F Cみさと北 加崎 裕子
- WEB 東京都高齢者福祉施設協議会東京の介護ってすばらしいグランプリ（コラム部門）【入賞】
：3月16日
「夜勤中の一コマ」 葛飾やすらぎの郷 宮崎 梓
- WEB 厚生労働省「令和3年度老人保健健康増進等事業」（都市部、離島・中山間地域におけるサービスの在り方に係る調査研究事業）：3月26日
事例：人材確保/専属チームによる採用強化（都市部）「人材採用強化チームケアワーカー魅力発信委員会の結成」 事務局次長 中村 寛史

②取材・記事掲載

- WEB きらケア研究所法人インタビュー：4月6日

『YouTube 動画を活用した採用戦略 若手職員のアイデアで採用活性化-社会福祉法人すこやか福祉会-』

- 事務局次長 中村 寛史
- 日本テレビNEWS ZERO 4月15日 「介護士ら『最低賃金アップ』訴え 背景には」
葛飾やすらぎの郷 上野 太一
- 下町の健康 4月25日 「野のはな保育園 事業所紹介」 野のはな保育園 佐藤 真也
- 月刊ゆたかなくらし 4月号 「21老福連 第20回全国職員研究交流集会の成功を目指して」
葛飾やすらぎの郷 天野 義久
- 協議会だより 4月号 「第5回看護活動交流集会を Zoom で開催」
葛飾やすらぎの郷 木谷 美保
- 東武よみうり新聞 5月24日 「三郷市の在宅医療介護連携推進協議会と広報啓発部会」
三郷市広報啓発部会「介護の絵本」作成 デイ采女の里 栗原 一樹
- 協議会だより 5月号 「地域医療福祉の50年を読んで」 葛飾やすらぎの郷 渡邊 めぐみ
- 月刊民医連医療 5月号 「新型コロナウイルス感染症対応と対策」
葛飾AM 江川 慎吾
- 福祉新聞 6月28日 「オンラインで参加者増 コロナ禍の高校生、介護体験」
- 健康のひろば 6月号 「三郷市介護保険が月800円の値上げ！」
事務局次長 吉澤 聡
- 協議会だより 6月号 「2021年度活動方針のポイント」 常務理事 菊地 雅彦
「おすすめの1冊」 事務局次長 吉澤 聡
- 協議会だより 7月号 「各地でなんでも相談会を開催しています」
葛飾やすらぎの郷 小又 維鎮
「青年協議会 (U-35) のページ」 八潮かえで保育園 松澤 英利子
- 協議会だより 8月号 「小鳩園での取り組みはまず掃除と片づけから」
本部 木下 万誠
「利用者さんの辛さと一緒に向き合って」
葛飾やすらぎの郷 松井 さくら
- Paprika パブリカ夏号 「食育活動と調理保育の年間計画例 食育活動・調理保育の年間計画表」
八潮かえで保育園
- 月刊ゆたかなくらし 9月号 「暗中模索でLIFEの導入作業」
葛飾やすらぎの郷 長谷川 浩司
- 協議会だより 9月号 「オンライン高校生一日体験」 GH青戸 紙屋 友信
「コロナ禍における YouTube を活用した経営戦略」
事務局次長 中村 寛史
「保育園・学童に夏が来た！」 八潮かえで保育園 吉澤 木綿子
こぼとの森保育園 山下 香織
ひよどり学童保育クラブ
村上 和歌子
- 「青年協議会 (U-35) のページ」 葛飾やすらぎの郷 小川 和之
- 月刊いつでも元気 10月号 「購読者拡大ポスター」 葛飾やすらぎの郷 天野 義久
- 協議会だより 10月号 「協議会介護安全研修会に参加して」 FCたかの 山本 洋子
- しんぶん赤旗日曜版 11月21日 「介護施設利用の食費負担が倍増」
葛飾やすらぎの郷
- 健康のひろば 11月25日 「わたしのふるさと」 FCみさと 山崎 加奈
- 健康のひろば 12月25日 「わたしのふるさと」 FCみさと北 金田 直樹
- 下町の健康 1月25日 「社会福祉と医療が連帯する事業のあり方を提起」
理事長 藤井 博之
- 協議会だより 1月号 「オール協議会の団結の輪をさらに強化して」
葛飾やすらぎの郷 天野 義久

- 「2021 年度介護・福祉責任者会議に参加して」
 統括マネジャー 落合 直人
- 「この間の楽しかったこと、励みになったこと」
 葛飾やすらぎの郷 小川 和之
- 月刊ゆたかなくらし 2月号 「超高齢者に聴く ～わたしの生い立ち そしていま～」
 葛飾やすらぎの郷 根本 愛李
- 協議会だより 2月号 「貧困・・・事例から見えるその現実」 地域包括青戸 新美 育子
 サルマ 一代
- 「高校生介護一日体験～2年ぶりに現地で開催！～」
 本部事務局 堀 竜輔
- 「おすすめの1冊」
 湾岸AM 中野 一仁
- 協議会だより 3月号 「母の人権と選挙」 八潮かえで保育園 石井 良子
- 看護雑誌「明日への看護」 「逆境の立ち向かう新たなチャレンジの実践」
 デイみたて
- ヘルパー協会季刊誌 事業所紹介 FCたかの 沼尻 真澄
- 書籍「介護福祉士になるには」ペリかん社 FCたかの 沼尻 真澄

6. 法人の沿革

- 1998年 2月 社会福祉法人すこやか福祉会 法人認可
 ※初代理事長：内村 逸郎（初代常務理事：深沢 大三）
- 4月 こばとの森保育園（定員 65 名） 開園（葛飾区東水元）
- 1999年 7月 特養ホーム等高齢者施設づくりをすすめる会 発足
 ※のちの、すこやか福祉会を支援する会
- 2001年 4月 こばとの森保育園 増築（定員 80 名）
 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 開設（葛飾区新宿）
 （定員：入所 80 名、ショートステイ 16 名）
 特養併設新宿在宅サービスセンター（定員 20 名） 開設（葛飾区新宿）
- 5月 グループホーム福さん家 開設（墨田区吾妻橋）定員 9 名
- 2002年 8月 かばらデイサービスセンター 開設（足立区東和）定員 30 名
 ※医療福祉複合施設（医科・歯科診療所併設）
- 2003年 3月 ※理事長交代 第2代：増子 忠道（常務理事交代：竹森 チヤ子）
- 5月 在宅サービスセンター葛西 開設（江戸川区南葛西）定員 15 名
 ※医療福祉複合施設（医科診療所併設）
- 2004年 1月 あおと福祉の家 開設（葛飾区青戸） ※福祉複合施設
 グループホーム青戸（定員 18 名）
 デイサービスセンターすこやか（定員 30 名）
 ファミリーケアすこやか：訪問介護 3 事業所開設
- 4月 金町学童保育クラブ（定員 57 名） 開設（葛飾区東金町）
- 6月 グループホーム千住大川 開設（足立区千住大川）定員 18 名
- 1 2月 かなまち福祉の家 開設（葛飾区東金町） ※福祉複合施設
 グループホームかなまち（定員 9 名）
 デイサービスセンターかなまち（定員 30 名） 2 事業所開設
- 2005年 4月 つばさ学童保育クラブ（定員 30 名） 開設（葛飾区金町）
- 6月 ファミリーケア芝：訪問介護 開設（港区新橋）
- 9月 ケアサポートセンターみたて：居宅介護支援 開設（港区港南）
- 1 1月 グループホームかねがふち（定員 9 名） 開設（墨田区墨田）
 ※医療福祉複合施設（医科診療所併設）

- 2006年
- 1月 すこやかの家みたて 開設(港区港南) ※福祉複合施設
 グループホームみたて(定員18名)
 デイサービスセンターみたて(定員15名)
 高齢者グループリビングみたて:高齢者住宅(8室)
 ファミリーケアみたて:訪問介護 4事業所開設
 ケアサポートセンターみたて:居宅介護支援 移転
- 5月 ※理事長交代 第3代:竹森 チヤ子(常務理事交代:田制 昭平)
- 5月 東京都港区高齢者集合住宅生活援助員業務受託
- 8月 株式会社ファミリーケアから東京都内事業所運営移管により14事業所開設
 千住大川デイサービスセンター(定員30名)(足立区千住大川)
 デイサービスセンターかねがふち(定員30名)(墨田区墨田)
 デイサービスセンターなの花(定員30名)(江東区大島)
 ファミリーケア立石:訪問介護(葛飾区東立石)
 ファミリーケア北千住:訪問介護(足立区千住仲町)
 ファミリーケア柳原:訪問介護(足立区柳原)
 ファミリーケア西新井:訪問介護(足立区西新井栄町)
 ファミリーケア綾瀬:訪問介護(足立区東和)
 ファミリーケアすみだ:訪問介護(墨田区墨田)
 ファミリーケア新小岩:訪問介護(江戸川区松島)
 ファミリーケア葛西:訪問介護(江戸川区西葛西)
 ファミリーケア大島:訪問介護(江東区大島)
 ファミリーケア深川:訪問介護(江東区東陽町)
 ファミリーケア訪問入浴:訪問入浴介護(足立区千住大川)
- 12月 認知症デイサービスよりみち(定員11名) 開設(足立区柳原)
- 2007年
- 1月 広報紙「住みなれたまちで」創刊
- 7月 本部事務局移転(足立区千住曙町)
- 2008年
- 3月 こぼとの森保育園10周年記念誌「たからもの 子どもたちが豊かに育つために」発行
- 4月 地域包括支援センター青戸 開設(葛飾区青戸) ※高齢者総合相談センター青戸
- 4月 ファミリーケア花千寿:訪問介護 開設(足立区千住大川)
- 4月 よりみちの家 開設(足立区柳原) ※福祉複合施設
 小規模多機能サービスよりみちの家(定員18名)
 高齢者グループリビングよりみちの家:高齢者住宅(5室) 2事業所開設
 認知症デイサービスよりみち 移転(定員12名)
- 4月 小規模多機能サービス馬渡さん家(定員18名) 開設(三郷市鷹野)
- 4月 はやぶさ学童保育クラブ(定員30名) 開設(葛飾区金町)
- 4月 ファミリーケア立石:訪問介護 移転(葛飾区東立石)
- 5月 ファミリーケア水元公園:訪問介護 開設(葛飾区水元)
- 5月 (常務理事交代:菊地 雅彦)
- 2009年
- 1月 ファミリーケア深川:訪問介護 廃止 ※ファミリーケア大島に統合
- 1月 ファミリーケアすこやか:訪問介護 休止
- 2月 ファミリーケア花千寿:訪問介護 廃止 ※ファミリーケア北千住に統合
- 12月 ファミリーケアあおと(旧名称ファミリーケアすこやか)再開
- 2010年
- 4月 東金町小ひよどり学童保育クラブ(定員50名) 開設(葛飾区東金町)
- 5月 あおと介護保険相談室:居宅介護支援 開設(葛飾区青戸)
- 5月 地域包括支援センター青戸 亀有分室 開設(葛飾区亀有)
 ※高齢者総合相談センター亀有
- 6月 ※理事長交代 第4代:中山 美千代
- 12月 業平医療福祉会館 開設(墨田区業平)

※医療福祉複合施設（医科診療所・訪問看護ステーション併設）

グループホームすこやかの家業平（定員 9 名）

小規模多機能サービスすこやかの家業平（定員 18 名） 2 事業所開設

- 2011年 9月 葛飾やすらぎの郷開設 10 周年祝賀会
葛飾やすらぎの郷開設 10 周年記念誌「時代を拓く施設づくり」発行
- 2012年 2月 あおと介護保険相談室：居宅介護支援 移転（葛飾区青戸）
7月 介護相談室みずもと：居宅介護支援 開設（葛飾区水元）
- 1 1月 在宅サービスセンター葛西：通所介護 廃止 ※小規模多機能に事業転換
- 2013年 1月 小規模多機能サービスすこやかの家業平 廃止 ※複合型サービスに事業転換
2月 複合型サービスすこやかの家業平（定員 24 名） 開設（墨田区業平）
※小規模多機能サービスから事業転換
2月 すみれ訪問看護ステーション 開設（墨田区業平） ※健和会から譲渡
2月 すこやかの家かねがふち 開設（墨田区墨田） ※福祉複合施設
ケアハウスかねがふち（定員 20 名）：都市型軽費老人ホーム 開設
デイサービスセンターかねがふち 移転
ファミリーケアすみだ：訪問介護 移転
2月 小規模多機能サービス葛西みなみ（定員 25 名） 開設（江戸川区南葛西）
4月 八潮かえで保育園（定員 85 名） 開設（八潮市大瀬）
- 2014年 3月 金町学童保育クラブ 休止 ※建替えのため
7月 千住大川デイサービスセンター：通所介護 廃止
9月 ファミリーケア北千住：訪問介護 移転（足立区千住大川町）
- 1 2月 デイサービスセンターなの花：通所介護 廃止
- 2015年 2月 金町学童保育クラブ 再開
2月 はやぶさ学童保育クラブ 廃止 ※再開した金町学童保育クラブに統合
2月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更
（定員：入所 84 名、ショートステイ 12 名）
3月 介護相談室やなぎしま：居宅介護支援 開設（江東区業平）
3月 すこやか福祉会 5 ヵ年計画（2015 年～2019 年）策定
5月 ファミリーケア北千住：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア柳原に統合
8月 高齢者総合相談センター亀有（地域包括支援センター青戸亀有分室）移転
（葛飾区亀有）
1 2月 株式会社ファミリーケアからの介護事業所運営移管により 7 事業所開設
デイサービスセンターなごみ（定員 30 名）（三郷市鷹野）
デイサービスセンター采女の里（定員 33 名）（三郷市采女）
ファミリーケアみさと：訪問介護（三郷市鷹野）
ファミリーケア戸ヶ崎：訪問介護（三郷市戸ヶ崎）
ファミリーケアみさと北：訪問介護（三郷市采女）
ファミリーケア松戸：訪問介護（松戸市馬橋）
ファミリーケア八潮：訪問介護（八潮市中央）
- 1 2月 ファミリーケア柳原：訪問介護 移転（足立区柳原）
- 2016年 4月 ファミリーケア立石：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
4月 ファミリーケア芝：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
5月 ファミリーケアあおと 立石営業所 開設
5月 ファミリーケアみたて 芝営業所 開設
7月 ファミリーケア松戸：訪問介護 廃止
9月 ファミリーケア西新井：訪問介護 廃止
- 2017年 3月 子ども食堂「カフェひろば」開始（葛飾区東金町）
4月 おおぜ学童保育所（定員 80 名）開設（八潮市大瀬）※八潮市から指定管理者受託

- 8月 ファミリーケア綾瀬：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
- 9月 ファミリーケア柳原 綾瀬営業所 開設
- 9月 苦情対応第三者委員会スタート
- 10月 介護事業部組織再編 サービス事業部制からエリア事業部制に再編
葛飾エリア、足墨エリア、湾岸エリア、埼玉エリアの4つのエリアでスタート
- 12月 ファミリーケア大島：訪問介護 移転（江東区大島）
- 2018年
 - 3月 介護相談室みずもと：居宅介護支援 廃止 ※あおと介護保険相談室に統合
 - 3月 東京都港区高齢者集合住宅生活援助員業務 受託終了
 - 4月 野のはな保育園（定員80名） 開設（足立区西加平）
 - 4月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更
(定員：入所88名、ショートステイ8名)
 - 4月 介護職員学業保障制度開始：2名入職（千住介護福祉専門学校入学）
 - 5月 複合型サービスすこやかの家業平 廃止 ※6月に健和会に譲渡
すみれ訪問看護ステーション 廃止 ※6月に健和会に譲渡
介護相談室やなぎしま：居宅介護支援 廃止
 - 6月 すこやか福祉会20周年記念誌「創立20年の軌跡」発行
 - 7月 すこやか福祉会20周年記念講演・祝賀会（テクノプラザかつしか）
すこやか福祉会20周年記念誌「子育て応援ブックレット-たからもの」発行
 - 9月 複合施設TPGケアテラスよまき 開設（三郷市鷹野）
小規模多機能サービス馬渡さん家 移転
ファミリーケア戸ヶ崎：訪問介護 移転・名称変更：ファミリーケアたかの
- 2019年
 - 2月 グループリビングよりみちの家 廃止 ※3月に保健医療福祉協同組合に譲渡
 - 3月 ファミリーケアあおと立石営業所：訪問介護 廃止
※翌月、ファミリーケアあおとに統合
 - 4月 ファミリーケアあおと：訪問介護 移転（葛飾区青戸）
 - 4月 昨年度に引き続き介護職員学業保障制度実施
：3名入職（千住介護福祉専門学校入学）
 - 4月 ファミリーケア新小岩：訪問介護 廃止 ※翌月、ファミリーケア船堀に統合
 - 5月 ファミリーケア葛西：訪問介護 移転・名称変更：ファミリーケア船堀
(江戸川区東小松川)
- 2020年
 - 6月 かばらデイサービスセンター：通所介護 廃止
 - 7月 こばとの森保育園 隣地購入（葛飾区東水元）
- 2021年
 - 3月 ファミリーケアみたて芝営業所：訪問介護 廃止
※翌月、ファミリーケアみたてに統合
 - 4月 デイサービスセンターかねがふち
：通所介護から認知症対応型通所介護に事業転換
 - 4月 グループホーム福さん家 土地・借地権・建物購入（墨田区吾妻橋）
 - 6月 ※理事長交代 第5代：藤井 博之
 - 9月 東金町小ひよどり学童保育クラブ 移転（葛飾区東金町）
定員変更（50名→75名）
- 11月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 大規模修繕工事着工
(2022年10月完了予定)
- 11月 こばとの森保育園 避難口新設工事着工（2022年1月完了）
- 2022年
 - 4月 こばとの森保育園 認可定員変更（91名→84名）
 - 4月 つばさ学童保育クラブ 金町小学校内に移転（葛飾区金町）
 - 4月 遺贈により土地・建物取得（流山市南流山・松戸市松戸）